

## 【講演録】

# 定量的方法論に関する講演会の概要

藤 田 健

本稿は、山口大学大学院経済学研究科の留学生を対象にした定量的方法論に関する講演会の概要を紹介する。本講演会は留学生の研究水準の向上を目的として、2016年11月18日に山口大学経済学部第1会議室で開催された。

講師には和歌山大学観光学部准教授・佐野 楓先生をお招きした。佐野先生は中国から日本に留学され、神戸大学大学院経営学研究科で博士（商学）の学位を取得された。現在は、サービス・マーケティング、観光マーケティングの研究者として、国内外で広く活躍されている。こうしたご経験を踏まえ、「留学生のための定量的方法論—実証論文をどのように書くか—」という演題でご講演頂いた。

佐野先生の講演内容は、①佐野先生が日本留学生生活のなかで勉学に励まれ、自立した研究者になられた経緯と、②佐野先生が得意とされる定量的な実証論文を書くための研究方法論に関するものであった。講演会には、経済学部教員・大学院生約10名が参加し、佐野先生の講演を拝聴した。講演後は、佐野先生と参加者のあいだで定量的方法論の内容や研究の進め方について活発な議論が交わされた。

以下に、佐野先生のご講演内容をまとめた「講演録」を掲載しておく。今後、経済学研究科留学生の研究水準を向上させるために、本講演録をご活用頂きたい。なお、本講演会は、2016年度部局長裁量経費「大学院渡日前入試入学者に対する基礎教育拡充プロジェクト」の支援を受けて実施した。記して感謝する。